

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 神田教室 (単位1)		
○保護者評価実施期間	2025年2月8日		2025年2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 6人
○従業員評価実施期間	2025年2月8日		2025年2月22日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心して楽しく事業所に通っていただいている。	一人ひとりの子どもの特徴を理解し、寄り添った対応をすることで信頼関係を築き、支援につなげている。	今後も引き続き丁寧な対応を心掛け、安心して事業所に通っていただき、効果的な支援を提供できるように取り組んでいく。
2	専門的な支援を充実させ、個々のニーズに応えられるように取り組んでいる。	保護者とのコミュニケーションを密に図り、ニーズ等の聴取をスムーズに行うように取り組んでいる。	今後も専門性を向上させ、個々のニーズに対し効果的な支援を行っていく。 保護者とのコミュニケーションを密に図ることや個々の特性の理解を深めていく。
3	日々職員間のコミュニケーションを密に行っている。	業務の円滑化や利用者に関する情報共有などを怠らないよう、職員間のコミュニケーションの一つとして連絡ツールを最大限に活用している。	定期的な会議の頻度を増やし、さらなる連携を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現時点で地域との交流ができていない。	地域との交流の場を設けることができなかった。	今後、事業所主催の地域の交流の場を作るだけでなく、地域のイベント等にも積極的に参加していく。
2	保護者交流会を開催できていない。	保護者とのコミュニケーションは図れていたが、保護者同士の交流の場を作ることができなかった。	保護者参観週間や日曜日開所等、普段の活動を見てもらうのと同時に、保護者同士の交流の機会を作っていく。
3	ペアレント・トレーニング他、外部の研修等への参加が不十分だった。	事業所内での専門性の共有等に留まっていた。	積極的に外部の研修等に参加し、専門性の向上の他に新しい分野で利用者や保護者に還元できるように努める。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス アルベン清和 神田教室 (単位1)

公表日 2025年3月14日

利用児童数

7人

回収数

6人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4	1		1		・毎日の職員配置数は平均4名以上の配置を行っています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	5	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5			1		・個々の特性に応じた専門的支援プログラムを作成、保護者の同意の元実施しております。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5			1		・面談やアセスメントシートを元に、必要な支援項目を選択し具体的な支援内容を設定しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5			1		・個別支援計画のもと支援を行っています。必要に応じて、面談も行えますのでお気軽にご相談下さい。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4				2	・保育所等訪問での連携や、関係機関先と連絡帳を使ったやり取り等を必要に応じて行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3				3	・現在は家族支援プログラムは実施しておりませんが、今後検討していきます。 ・面談などの時間を活用して相談支援に対応しています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4	1			1	・保護者様には、日々の活動や気付きについて送迎時や連絡帳にて必ずお伝えしていきます。また職員につきましては、開始前のミーティング等で細やかな気づきや課題、配慮すべき点について話し合い、ご利用の際に実施できるように取り組んでおります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1			1	・6ヶ月に1度のモニタリングの際に、児童発達支援管理責任者が保護者様に支援内容や助言等詳しく説明しております。また個人面談をご希望の保護者様はお気軽にお申し付けください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2			3	・現在は開催しておりませんが、来年度より定期的に保護者交流会の開催を行う予定です。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5				1	・お子様や保護者様からのお問合せについては、迅速に対応し担当者からの連絡を必ず行うように徹底致します。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5			1	・個人情報の漏洩がないよう努めております。個人情報に記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しております。書類等は必要に応じてシュレッターで裁断処理しております。今後も十分に注意するように努めます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			1	・各種マニュアルは常に教室内に開示しておりいつでも閲覧が可能です。今後はアプリ上においても閲覧可能にします。 ・各マニュアルにおける訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1		1	・月に一度、地震、火災、洪水、送迎時を想定した避難訓練を行い送迎時や連絡帳にて情報を共有しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			1	・事故やケガ等が発生した場合には、応急処置を行い、即時にご家族に連絡させていただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6				
	29	事業所の支援に満足していますか。	6				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 神田教室 (単位1)				公表日	2025年3月14日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・職員の配置は指定人員基準以上の配置をしています。	・人員増加を来年度より実施予定。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	・場合によっては個室を使用できる状況にあります。使用できない場合にはパーテーションを使用しているが個別の空間を作ること環境設定を行っています。	・静養室がない、部屋数が少ない ・静養室がなく、代替として相談室を使用しているが適切な環境でなく、また面談で使用している際には使用できない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		・現時点で第三者委員会などの外部評価は実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	・面談を行った上で、計画を作成しています。また、必要に応じて、発達検査の結果などを任意提出していただき、お子様のアセスメント分析、指導・療育方針の決定に役立っています。	・客観的な評価ツールの使用の検討を継続する必要があると思う。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2			・今後、必要に応じて行う予定です。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3			・現在はありません。地域の活動への参加で補っていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4				
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2				・初回面談時に、アレルギーの有無を把握し、アレルギーのあるお子様については家庭と連携を図り対応しております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4				
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4					